

この計画書は昨年5月に皆様方のご家庭に配布いたしました。

この活動計画に基づき、令和3年度は、住民の困りごとを把握するため、高齢者世帯等を対象とした生活支援アンケート調査を実施しました。

コロナにより私たちの日常はいろいろな制限を受け不
便な生活を強いられています。

上諫早地区社協もここ2年は通常の活動ができず、
多くの行事を中止せざるを得なくなっています。

このような中、令和2年度は、今後の上諫早地区の
福祉のまちづくりの実現に向け、「上諫早地区地域福祉
活動計画」を策定いたしました。

**上諫早
社協だより**

第9号

発行
上諫早地区
社会福祉協議会

地域福祉活動計画

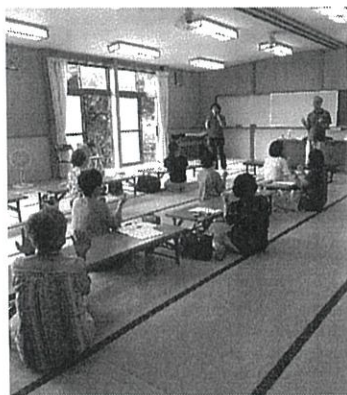
(1) 計画策定の目的

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるような福祉のまちづくりを実現するため、その行動計画を定めたものです。

今後5か年(令和3年度～7年度)の計画です。

(2) スローガン

3つの“あい”「助けあい」、「ふれあい」、「郷土あい」があふれるまちづくりをめざします。



『レクレーション講座』
ふれあいきいきサロンは、コロナ禍でも、工夫をしながら万全の感染防止対策を講じて活動をしています。

令和2年7月、サロンのボランティアを対象に、コロナウイルス感染予防に対応したレクレーション講座を実施しました。

アンケート調査

(1) 目的

地域住民が、日常生活の中でどのようなことで困っているかを調査し、今後地域での生活支援について検討する資料とする。

(2) 対象者

75歳以上の高齢者世帯など。49世帯。

(3) 調査内容

- ① 困っていることがあるか?
- ② 困っていることの内容?
- ③ 支援を受ける意思があるか?

(4) 結果

困っていることがある、との回答が18世帯。

困っている内容の主なものは、庭の手入れ、買い物、通院。

生活支援を受けたい、と答えた世帯は、困っていることがある、と答えた世帯数より多い25世帯でした。

地区	世帯数	困っていることが		支援を受けたいか			
		特にない	ある	受けない	受けたい		
					無料なら	有料でも	計
本明	31	18	13	14	7	10	17
目代	18	13	5	10	3	5	8
合計	49	31	18	24	10	15	25